

【総務省の魅力】

通信インフラを軸に ICT 社会を革新



執筆責任：木村優一

基幹理工学研究科・平成 29 年修了

総務省の概要：

総務省は情報通信、自治、行政管理など幅広い分野を所管していますが、EWE 所属の皆さんが総務省に入省した場合、情報通信分野を中心にキャリアを積むことになります。情報通信分野では、主に以下のような業務が行われています。

- ① 通信系（電波・有線・NTT）
- ② 放送系（NHK・地上/衛星放送・ラジオ）
- ③ 通信技術の研究開発・国際展開・国際競争
- ④ サイバーセキュリティ など

総務省の採用枠とキャリアパス：

前提として、省庁への入省は国家公務員試験合格→官庁訪問（＝採用面接）の 2 段階に分けられており、このうち国家公務員試験は「総合職」又は「一般職」に分かれています。

- 総合職：基本的に 2 年で異動。昇進が早く、幅広い分野を経験後、独自キャリアを積む
 - 一般職：2～3 年で異動。入省後に配属されたところを中心にキャリアを積む
- ※ 私見ですが、皆さんであれば、総合職試験は 4～6 月程度、一般職試験は 2～4 か月程度勉強すれば十分受かると思います。

総務省は通信系の業務が多いですが、基礎的な工学の知識を持つ皆さんにとっては、若手の内から幅広い分野を経験でき、総合職がおすすめです。

私は総合職採用で、2 年目、5 年目、7 年目に電波法大改正、大阪万博に向けた空飛ぶクルマの検討、ふるさと住民登録制度といった、連日新聞の一面に掲載されるようなインパクトのある政策を担当しました。こうした幅広い分野で重要な施策を経験すると、高い視点で社会の仕組みを学べるのは、総合職ならではの経験です。

＜「総合職」の典型的なキャリアパス＞

- 係員（1～3 年目）
- 係長・主査（4～7 年目）
- 課長補佐（8 年目～16 年目）
- 企画官・室長（17 年目～24 年目）

EWE 関係者の活躍の場：

総務省の魅力の一つに、学生の皆さんの専攻に関わらず採用するという点があります。そのため、毎年採用される人の内、半分以上が農業、化学、建築など、通信・情報・工学以外を専攻した人が採用されています。他方、EWE 所属の皆さんは、こうした人たちと比べ業務上の基礎知識を事前に身に付けているため、最初から学んできた内容を政策・業務に活かせることができ、即戦力として活躍することができると思います。

採用情報および連絡先：

少しでも分からないことや興味があれば是非、ご連絡ください。また説明会も定期的に行っているので、気軽にご参加いただき、総務省の楽しさを感じてみてください！

連絡先：y7.kimura@soumu.go.jp

総務省大臣官房企画課 木村優一



＜技術系説明会＞ ＜採用活動インターン等＞